



さらなる産業集積を目指して

医療器材産業集積の形成

2013年も引き続き「南部生技医療器材産業集積発展第二期計画」を推進。2009年から2013年までの間に131件の案件に対して13.1億元の助成が認可されています。また、入居企業数も認可ベースで45社、累計投資金額も70.21億元に達し、生産額も順調な伸びを示しています。

第二期計画では国際マーケティングとイノベーション、ベンチャー育成の推進を目指し、これを支えるための一貫した行政サービスの提供に努めます。衛生福利部食品薬物管理署（TFDA）と協力して医療器材関連法規に関するワンストップサービスを提供するための相談窓口を設置。台湾生技整合育成センター（Si2C）や近隣の大学など関係機関の資源を有機的に結合してイノベーションや起業を促す環境を整備します。

南科管理局の支援の下、入居企業は目覚ましい成果を上げています。2013年までの累計で6社が人工歯根の開発に成功して衛福部の審査に合格したほか、16社が優良製造標準（GMP）を取得、6社が生技新薬産業発展条例の適用企業に認定、24社の製品がTFDA（食品薬物管理署）による発売許可を得ました。



TFDA相談窓口が業務開始(2013.09.02)



SPARK Taiwan医材人才育成計画がスタート(2013.06.14)



南科医材技術創投通路商機マッチング会及び成果発表会(2013.05.21)



世界一重要なシリコンウエハ製造拠点

シリコンウエハ製造大手各社は2013年、7400億元以上の追加投資を行いました。台積電は20mm以下、聯電は28mm以下製造プロセスの導入を決定。これらの投資が川上から川下までの周辺産業の一層の集積を促し、南科を世界最大の12インチウエハの製造拠点に成長させてくれることでしょう。



■ 聯電Fab12A第三、四期工場

光電子産業に新たな仲間

南科の平面ディスプレイ産業は2013年、液晶ディスプレイ偏光板用保護フィルムを手掛ける日系の台湾賽諾世（ZACROS）、LED照明モジュールの君瞻、バックライトモジュールの立寶光電などの企業を新たに迎え、群創と瀚宇彩晶によって形成されてきた川上から川下に至る産業集積は、さらに厚みを増すことになりました。



■ ZACROS TAIWAN、着工前の地鎮祭(2013.11.21)

集積が進むグリーンエネルギー産業

2013年から実施されている「南科緑能低碳産業集落推動計画」では、技術、資金、認証、マーケティング、人材などの面で企業活動をサポートするため、助成金制度ほか各種支援体制の整備に努めています。2013年に受理した14件の申請案のうち6件に対して計3665.9万元を助成。各企業が投じた研究開発費は6500万元以上に達し、偉馳能源など4社の誘致にも成功しました。

南科には2013年末の時点で太陽エネルギー、LED、リチウム電池、電動車などグリーンエネルギー関連企業21社が進出しているほか、核能研究所の集光型太陽能発電高科検証・発展センターと電信技術センター綠色通訊実験室も入居して企業向けに認証サービスを提供するなど、着実に産業集積が進んでいます。